

## 「就労支援に関する事例発表・座談会」 終了報告

当センターでは、就労支援に携わる方向けに、スキルアップを目的とした研修を年に数回開催しております。これまでの当センター主催の研修会や日々の関係機関の皆様との関わりの中で、「一般就労した方への関わりがわからない」「他の事業所はどのようにしているのか知りたい」という声をいただいております。そこで今回の研修は、就労系福祉サービス事業所の支援員を対象に、日々の支援での悩みや課題を共有することを目的に開催いたしました。前半は就労支援の事例発表、後半は座談会の2部構成で行い、当日は、十勝管内の21事業所から27名の方にご参加いただきました。



### 事例発表

- ①「当事業所の就労支援の課題と実践について」
- ②「就労支援の課題と実践」

とかち共同作業所 サービス管理責任者 住友理愛氏  
株式会社一落芭 専務取締役 田中政弘氏



住友さんからは「日々の支援で大切にしていることや困りごと」を中心に、田中さんからは「自己就職された方への関わり」として就職前と就職後の支援をテーマに発表いただきました。住友さんの「作業はあくまで手段であり、通所中の些細な出来事全ての関わりが就労支援につながる」という言葉には、参加者から共感の声が沢山上がっていました。また、田中さんの「自信を持てるようなかわりを心がけ、失敗しても「何が悪かったか」「どうしたらよいか」を一緒に考える」という言葉には、社会から切り離さない福祉サービス事業所の支援の在り方を考えさせられる機会にもなりました。

参加者からは「本人との信頼関係がないとステップアップは難しいと感じた」「事業所としての取り組みや利用者への関わり方等を参考にさせてもらいたい」との感想が聞かれました。お二人の発表から、日々の関わり方の積み重ねが就労支援につながっているということに改めて感じ、日ごろの関わりを振り返るきっかけとなりました。



### 座談会

後半は、経験年数や役職別で6グループに分かれ、日々の支援で抱えている悩みや課題等を率直に話し合っていました。

・**経営・運営に関わるグループ**では障がい福祉サービスの制度設計の在り方についての話題が中心となりました。障がい福祉サービス等報酬体系のたび重なる変更への対応や制度のはざまに落ちてしまう方をどのようにフォローするのか等、経営を冷静に考える頭と福祉で仕事をしている熱い気持ちが感じられる話し合いとなりました。

・**現場リーダー格のグループ**では、本人と支援者の就職に対する見立てのズレを擦り合わせていくことの難しさや、就労意欲の低い利用者への関わり方など、直接支援をする上での悩みがあがっていました。

・**就労支援経験が2年以下のグループ**では、「自事業所しか知らない為、他事業所のことを知りたい」「他事業所を知ることで自分たちの課題や困りごとが具体的になるかもしれない」という意見が多く、研修や横のつながりを求める声があがっていました。

座談会の中で、「悩みを抱えているのは自分の事業所だけではないということが知れてよかった」「このような会があればまた参加したい」という声が聞かれ、支援員同士・事業所同士のつながりの大切さが感じられた時間になっているようでした。



### 研修を終えて

就労支援の困りごとや課題を共有することを目的として開催した会でしたが、参加者の皆様が求めていることを確認する機会にもなりました。その中で上がっていたニーズとして、以下の3点がありました。

- ①自分たちの支援を振り返るために、他事業所の活動を知る
- ②悩みや問題などの解決に向けた勉強会
- ③事例発表や日々の困りごとを共有する会

また、「横のつながりが欲しいが、そのような場がない、あることを知らない」という方が大多数を占めており、普段から横のつながりがあり、情報共有する機会と就労支援の悩みを相談し合える関係を築くことが理想なのではないかと感じました。事業所同士の関係性の構築について、今後の課題をいただいた研修会となりました。

今後も障がいのある方がより生きやすい地域を作る為、皆さまのご協力をいただきながら進めて参りたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



担当：増田・福山